

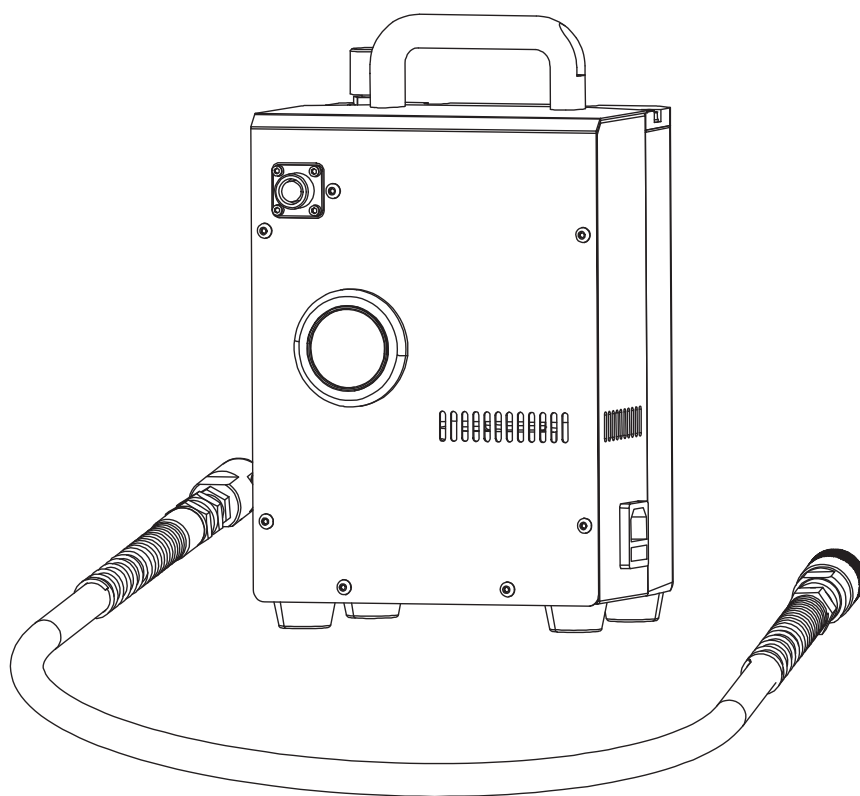


保 管 用

電動油圧式ポンプ

R10E-A

取扱説明書



マクセルイズミ株式会社

このたびは、**IZUMI** の油圧ポンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機の取扱い、注意事項などについて説明してありますので、ご使用前によくお読みの上、正しく安全に使用してください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

－ 目 次 －

■ 安全上の注意	．．．．．	P 1 ～ P 5
■ 油圧ポンプ使用上のご注意	．．．．．	P 6 ～ P 7
■ 仕 様	．．．．．	P 8
■ 各部の名称	．．．．．	P 9
■ 使用方法	．．．．．	P 10 ～ P 11
■ 保守・点検	．．．．．	P 12
■ アフターサービスについて	．．．．．	P 13

■安全上の注意

- ご使用前に、この「安全上の注意」のすべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。



警告

1. 高圧ゴムホースを人に向けたり、手や顔などを近づけないでください。
 - 破損し、飛散する恐れがあります。
2. 分解、改造をしないでください。
 - 破損し、傷害や損傷をおよぼす恐れがあります。
3. 感電に注意してください。
 - ぬれた手で差込プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
 - 油圧ポンプ使用中は、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。

警告

4. 次の場合は、電源コードを抜いてください。

- 使用しないときや修理をする場合。
- アタッチメントの交換をする場合。
- その他、危険が予想される場合。

5. 作業場の周囲状況を考慮してください。

- 油圧ポンプは、雨中での使用、湿ったまたは濡れた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は、十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の恐れがあります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。

6. カップラの接続は、確実におこなってください。

- 正しく接続されていないまま圧力を上げますと、高圧ゴムホース接続先のシリンダ内が異常高圧となり、パッキンの破損あるいはアタッチメントの破損にまで発展する恐れがありますので注意してください。

7. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの恐れがあります。

8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり油圧ポンプの焼損、感電、怪我の原因となります。

警告

9. コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持ってポンプを運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった場所に近づけないでください。コードが損傷し、感電、火災の恐れがあります。
- コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷するようなことがないように作業する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

10. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

11. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、所定機能を発揮するか確認してください。
- 部品の破損、取付状態、その他作業に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 差込プラグやコードが損傷したり、落としたり、何らかの損傷を受けた油圧ポンプは使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。

注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。

2. きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
可動部に巻き込まれる恐れがあります。

3. 高所作業のときは下に人がいないことを確かめてください。

- 材料や本体を落としたときなど、事故の原因になります。

4. 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、油圧ポンプ、各コードに触れさせないでください。
けがの恐れがあります。
- 作業者以外、作業場に近づけないでください。
けがの恐れがあります。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足もとをしっかりとさせバランスを保つようにしてください。
転倒してけがの恐れがあります。

注 意

6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
- 誤作動防止のため、差込プラグを抜いて保管してください。

7. 油断しないで十分注意して作業をおこなってください。

- 油圧ポンプを使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 常識を働かせてください。
非常識な行動をとると事故やけがの恐れがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。
事故やけがの恐れがあります。

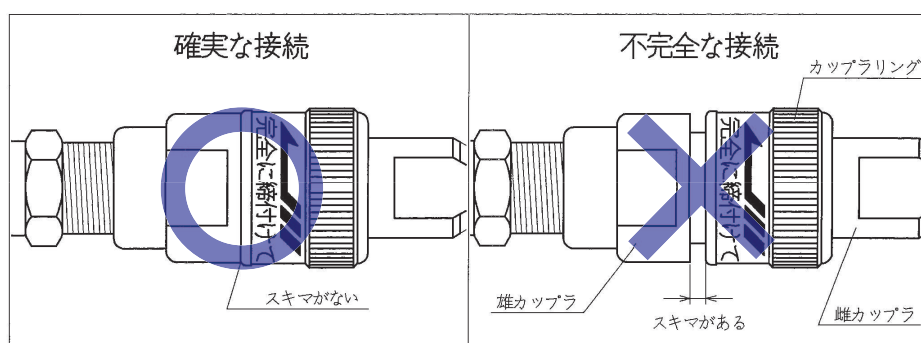
8. 油圧ポンプの修理は、販売店または弊社営業所に依頼してください。

- 分解、修理、改造をおこなわないでください。異常作動してけがをする恐れがあります。
- 本体の異常に気づいたときは、点検修理に出してください。
- 本製品の修理は、必ずお買い上げの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

■油圧ポンプ使用上のご注意

先に「安全上の注意」を記載しましたが、油圧ポンプを使用する際にさらに次に記載する注意事項を守ってください。

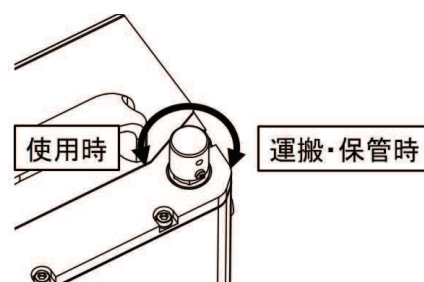
- この油圧ポンプは精密にできています。使用方法を誤りますと、故障や事故の原因となります。また油圧ポンプを横にしたり、高所からの落下など衝撃を与えたりしないでください。
- この油圧ポンプは、設定圧力を68.5MPaに調整してあります。規定以上に圧力をかけないでください。油圧ポンプや高圧ゴムホースが破損し、損害や損傷をおよぼす恐れがあります。
- カップラの接続は確実にこなってください。
不完全な状態で使用しますと十分に作動しないばかりか、カップラが破損して損傷をおよぼす恐れがあります。



- カップラの着脱およびヘッド部、高圧ゴムホースの交換は、油圧力を無負荷にし、必ず電源プラグを抜いてこなしてください。
- カップラに異物が付着していたり、汚れている場合はきれいな布で拭き取ってください。
そのまま無理に接続しますとパッキンを痛め、油漏れの原因となります。カップラを分離した後は、必ずキャップをしてください。
- 電源は、AC100V 50/60Hzです。95～120Vの範囲で使用してください。94V以下、121V以上の電圧またはDC電源では使用できません。また、発電機での使用もできません。
- 作動油は時々点検し、不足しているときは作動油を補給してください。作動油を補給するときは、指定の作動油を使用してください。植物性オイル、ブレーキオイルなどは絶対に入れないでください。
- 作業する際は、高圧ゴムホースを人のいる方向や自分のいる方向に向けての使用は避けてください。

●安全のため、アース接続してから使用してください。

●油圧ポンプを使用するときは、空気弁を開き、
使用しないときは閉じてください。
空気弁が開いていますと、輸送中に油が
漏れることがあります。

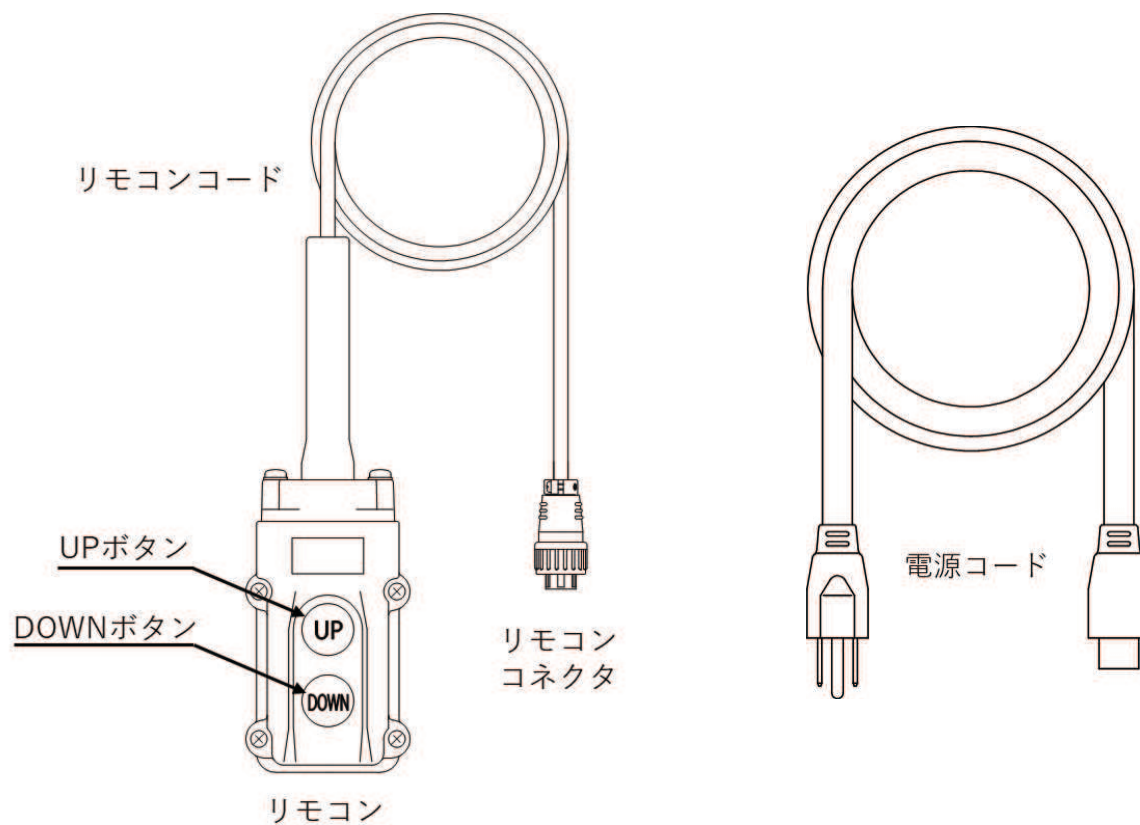
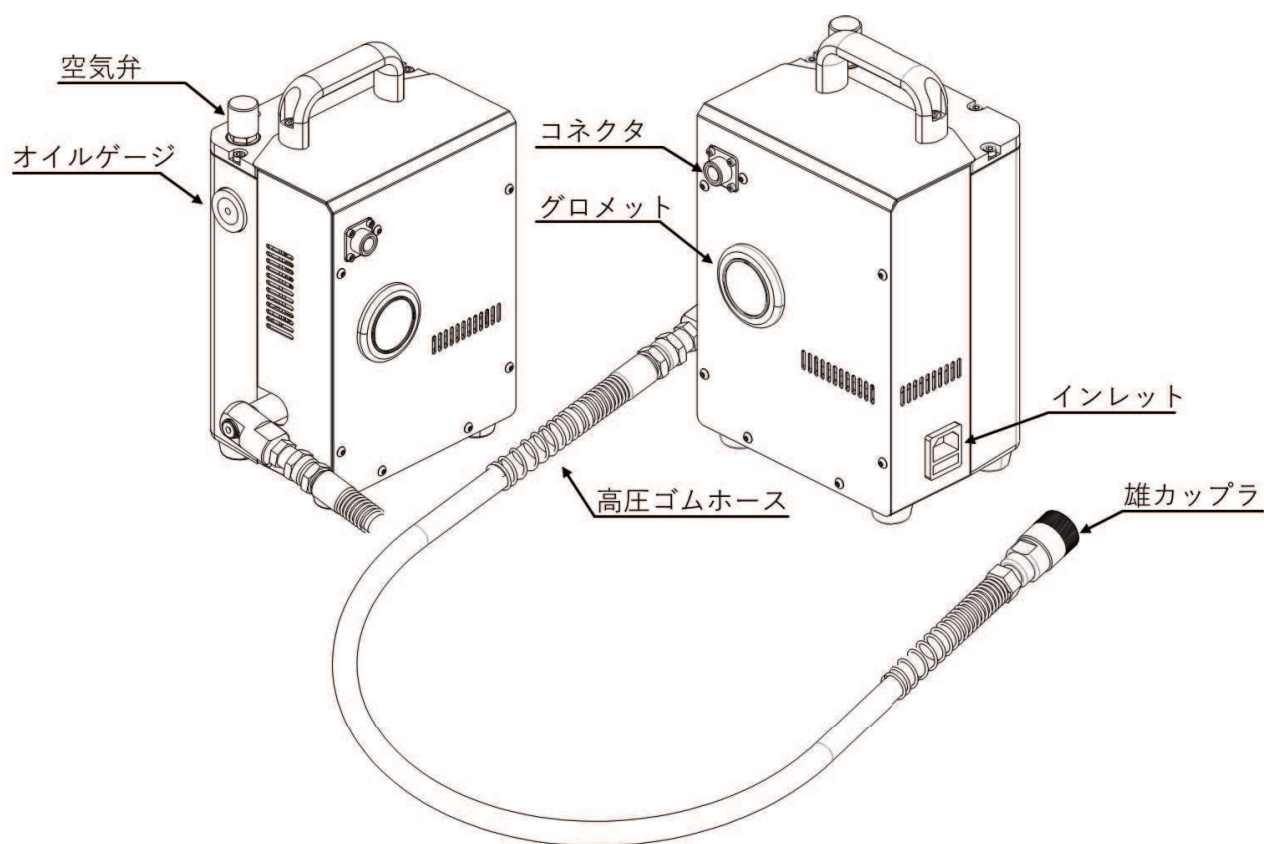


- コンセントより直接電源を接続せずにケーブルなどで延長する場合は、
2 mm²の太さの電線を20 m以内で使用してください。細い電線を長く
延長して使用すると、電圧降下のためモータおよびリターンユニットの
過熱、焼損を起こすことがあります。
- ポンプを移動するときに高圧ゴムホースおよびコードを引っ張らないで
ください。
故障の原因となります。
- 加圧中の高圧ゴムホースには絶対に触らないでください。高圧ゴムホー
スが損傷したとき、損傷する恐れがあります。
- 高圧ゴムホース上には、重量物や角の鋭いものを置いたり、車輛などで
踏まないようにしてください。
- 高圧ゴムホースは規定された最小曲げ半径（150 mm）より小さく曲
げて使用したり、極端に曲げた状態での保管はしないでください。
- 高圧ゴムホースに異常を発見した場合、ただちに使用を止め新品に交換
してください。
- 高圧ゴムホースをねじったり、引張った状態で加圧しないでください。
高圧ゴムホース、金具付近で破壊することがあり危険です。
- 作業後は、油圧ポンプ、高圧ゴムホースに付着した水、泥、異物などは
きれいな布で拭き取ってください。

■仕 様

項 目		諸 元
モ ー タ		330W整流子モータ
電 圧		AC100V-120V
最 大 消 費 電 力		800W
周 波 数		50/60Hz
全 負 荷 電 流		8A
設 定 圧 力		68.5MPa
吐 出 量	高 圧	0.24ℓ/min
	低 圧	2.8ℓ/min
作 動 油		シェルテラス S2V15 (T15)
油 タ ン ク 容 量		有効油量1.0ℓ (全油量1.2ℓ)
質 量		総質量10.4kg (乾燥質量9kg)
電 源 コ ー ド		2m
リ モ コ ン コ ー ド		3m
高 圧 ゴ ム ホ ー ス		2m

■各部の名称



■使用方法

1. 高圧ゴムホース先端の雄カップラをヘッド部の雌カップラに挿入し、カップリングを確実に締付けます。
(図 1)

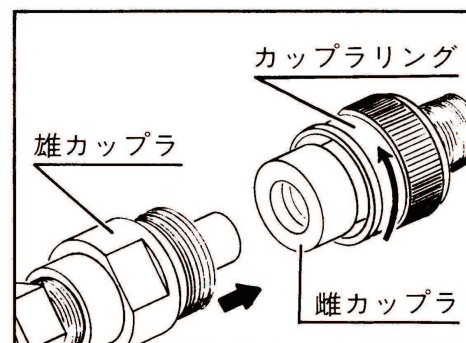


図 1

2. 空気弁を開きます。
(図 2)

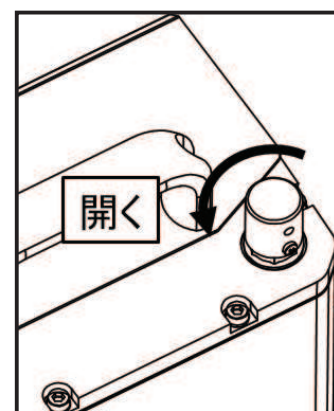


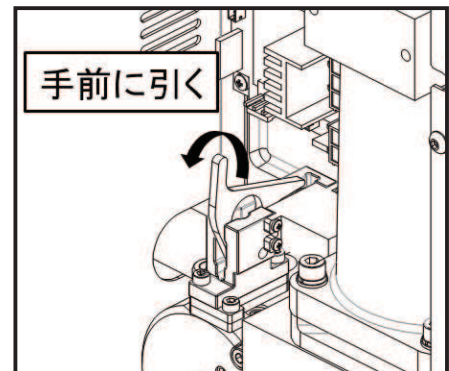
図 2

3. リモコンコネクタを本体コネクタに接続します。
4. 電源コードを本体側インレットに接続し、プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
5. リモコンスイッチの“DOWN”ボタン（下降用）を押して、リターンユニットが作動するか確認します。
6. “UP”ボタン（上昇用）を押すとモータが回転し、シリンダに作動油が送られます。
7. 途中停止をする場合は、“UP”ボタン（上昇用）から指を離してください。モータの回転が止まり送油も止まります。圧力がかかっている場合は、その圧力を保持します。

8. “UP” ボタン（上昇用）を押し続けると圧力が上昇し、規定の圧力に達すると圧力規制装置が作動して自動的にリリーフします。
9. “DOWN” ボタン（下降用）を押すと、リターンユニットが働き圧力が解除され、ヘッド部の作動油はボタンを押している間、油タンクに戻ります。

非常時のリリーフ

リターンユニットの故障や停電時等に
手動操作で圧力を解放することが出来ます。
正面のグロメットを外し、内部のリリーフ
レバーを引いてください。



エア抜き

はじめての使用の時や長時間使わなかった時など、まれに大気圧、
温度の差によりエアが油圧ポンプ内に入り込み作動不良となる場合が
あります。そのような場合には正面グロメットを外し、リリーフレバー
を引きながら、リモコンスイッチの“UP” ボタンを押してエア抜き
を行ってください。

■ 保守・点検

1. 油圧ポンプの保管は油圧ポンプを縦置きにし、空気弁を閉じて湿気が少ない場所で保管してください。
2. 油圧ポンプ保管の際には、油圧ポンプおよび高圧ゴムホースの上に物を置かないでください。リモコンコード、電源コードおよび高圧ゴムホースは、極端に曲げた状態での保管はしないでください。
3. 確実な動作を維持するためにも定期的に設定油圧力の点検をしてください。
4. 作動油の油量は定期的に点検し、油圧ポンプを水平に置いたとき、油面がオイルゲージの中心と上端との間にあるようにしてください。不足しているときは、空気弁を固定しているナットをスパナで取外し、指定の作動油を補給してください。
5. この油圧ポンプには小形の整流子モータを使用していますので、「刷子」は消耗品です。2/3 以上消耗した時は新しい「刷子」と交換となります。交換につきましてはお買い上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
6. 日常の保守・点検が十分であれば、故障する事はありませんが、万一故障した場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

■アフターサービスについて

保証書について

- 保証書はこの取扱説明書に付いておりますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より6ヶ月です。

修理を依頼される時

- サービスを依頼される前に、取扱説明書をよくお読みいただき、再度点検の上、異常がある場合はご購入の販売店へご依頼ください。
- 保証期間中は、ご購入の販売店まで工具に保証書を添えて修理をご依頼ください。
保証書記載の内容により修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎている時は、ご購入の販売店にご相談ください。
修理により工具の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービスについてご不明な点は

- ご購入の販売店またはお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

■メ モ

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

<保証規定>

1. 取扱説明書、油圧ポンプ貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。
 - (a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に工具と本書をご提示いただきお申し付けください。
 - (b) お買い上げの販売店に無償修理をご依頼になれない場合には、お近くの弊社営業所にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有償修理とさせていただきます。
 - (a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (b) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天災地変による故障および損傷。
 - (d) 過負荷および誤圧などによる故障および損傷。
 - (e) 消耗品の損傷。
 - (f) 車輛、船舶、航空機などに搭載された場合に生ずる故障および損傷。
 - (g) 本書のご提示がない場合。
 - (h) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名などの所定事項が未記入の場合、あるいは字句を書換えられた場合。
3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
[This warranty is valid only in Japan.]
4. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げ販売店またはお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理については取扱説明書をご覧ください。

保証書



本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に本書裏面記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。詳細は、裏面をご参照ください。

型 式		R 1 0 E - A	
保証期間		お買い上げ日より 6 ヶ月間	
※お買い上げ日		年 月 日	
※お客様	ご住所	参照用 様	
	お名前		
	電 話		
※販売店	住 所		
	店 名		
	電 話		

キ
リ
ト
リ
線

販売店さまへ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

マクセルイズミ株式会社

本 社 〒399-8721	長野県松本市大字笹賀 3 0 3 9 番地	☎0263(58)5757(代)	FAX0263(86)1002
東京営業所 〒151-8527	東京都渋谷区元代々木町 3 0 - 1 3	☎03(6891)2111(代)	FAX03(6891)1700
大阪営業所 〒542-0081	大阪市中央区南船場 2-1-10 (CARP 南船場第1ビル 9階)	☎06(7663)0667(代)	FAX06(7663)0668
名古屋営業所 〒465-0034	名古屋市名東区高柳町 2 0 7 番地	☎052(775)5388(代)	FAX052(776)2163
福岡営業所 〒812-0008	福岡市博多区東光 2 丁目 2 2 - 3 0	☎092(483)5700(代)	FAX092(483)5704
仙台営業所 〒984-0032	仙台市若林区荒井一丁目 2 1 番地の 8	☎022(287)1761(代)	FAX022(287)1768



マクセルイズミ株式会社

本 社	〒399-8721	長野県松本市大字笹賀 3 0 3 9 番 地	☎0263(58)5757(代)	FAX0263(86)1002
東京営業所	〒151-8527	東京都渋谷区元代々木町 3 0 - 1 3	☎03(6891)2111(代)	FAX03(6891)1700
大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場 2-1-10 (CARP 南船場第1ビル 9階)	☎06(7663)0667(代)	FAX06(7663)0668
名古屋営業所	〒465-0034	名古屋市名東区高柳町 2 0 7 番 地	☎052(775)5388(代)	FAX052(776)2163
福岡営業所	〒812-0008	福岡市博多区東光 2 丁 目 2 2 - 3 0	☎092(483)5700(代)	FAX092(483)5704
仙台営業所	〒984-0032	仙台市若林区荒井一丁目 2 1 番 地 の 8	☎022(287)1761(代)	FAX022(287)1768